

令和6年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	羽咋市市民活動支援センター	所在地	羽咋市鶴多町亀田17番地
指定管理者	社会福祉法人 羽咋市社会福祉協議会		
住所	羽咋市鶴多町亀田17番地	選定方法	公募
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日		
指定管理料	10,000千円（令和6年度決算額）		
評価担当課	まちづくり課		
年度重点目標	利用者の意見や要望を踏まえ、利用しやすいサービス提供に努め、利用者の増加を図る。		

評価項目		評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
			中間	年間		
1	職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A	A	書類 現地	事業計画書どおり(センター長1人(兼務)、主任1人(専任)、主事2人(専任兼任各1人)、臨時1人。
		事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A	A	書類	広報のチカラ(オンライン)、ボランティアコーディネーター研修
		指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	—	—	聞き取り	第三者への再委託は行っていない。
2	施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A	A	聞き取り	適正に実施されている。
		整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A	A	現地	事務室、交流スペースともに清掃、整頓されている。 ※清掃指定曜日:水曜日
		法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	—	—	聞き取り	該当なし。 ※羽咋すこやかセンター管理。
		保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	—	—	聞き取り	該当なし。 ※羽咋すこやかセンター管理。
		備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A	A	書類	備品台帳に写真付で管理。
3	サービス向上への取組状況 (アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A	A	聞き取り 現地	幅広い層に情報が届く様に、HP・FB・LINEの多様なツールを活用して同内容の情報を一元的に発信。市公式LINE等でも連携して情報発信している。 ※市の情報発信にも活用している。
		特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A	A	聞き取り	該当事例なし。
		利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A	A	書類	令和6年6月頃に施設利用者を対象に利用時にアンケート実施。 3月には利用者満足度アンケートを実施した。 ※満足41%、やや満足20%、普通16%と回答。
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A	A	書類	速やかに対応している。 ※相談カードで経緯を記録・管理。 ※事業報告でも適切な対応記録として記載。
4	防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A	A	書類	連絡体制を共有。 訓練3回(7/3、11/21、3/7)実施。
		リスクに応じた保険等に参加しているか。	A	A	書類	労務損害保険、備品損害保険加入。

評価項目		評価する内容の詳細	評価		確認方法	備 考
			中間	年間		
5	個人情報保護の措置状況	個人情報適正に管理されているか	A	A	現地	施錠付キャビネットで管理。PCもパスワード入力必要。
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A	B	書類	関連性の高い他の業務と兼務している職員費について、区分が難しく明確になっていない部分がある。
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A	A	書類	概ね計画どおり適正である。
		料金等の収入が適正に得られているか。著しい増減がある場合は、その原因は何か。	A	A	書類	適正である。
7	施設利用状況	施設の利用が十分に行われているか。利用者数、施設稼働率等に著しい増減がある場合は、その原因は何か。	S	S	書類	新設の交流スペース及びミーティングルームの利便性がよく、安定した活用が行われている。定期的に利用する団体以外での利用が増加。また、6月以降毎月講座等を開催したことによる影響あり。
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A	A	書類	3カ月に一度、詳細な定期報告が提出されている。
9	アンケート調査意見及び対応	他団体との交流希望 LINEやパソコン、スマホの操作、ZOOMなどの情報機器に関する相談 土日や夜間など、施設の利用に関する要望				
10	今後、検討・調整が必要な事項	・交流サロン及びミーティングルームについて利用者数が増えていることから、利用者の利便性向上のためにも、間仕切りを工夫する等で活用の幅を広げることを検討し、利用者満足度向上を図る。 ・アンケート結果より、土日や夜間利用の要望があるものの、費用対効果から対応には検討を要する。 ・備品のプロジェクターが故障し、買い替えが必要。				
11	今後の管理方針	・複数の団体で後継者不足の声があり、存続が危ぶまれているため、若い人たちへの周知のため、「わくわくアカデミー」の土曜開催を行う。 ・アンケートより他団体との交流希望があったため、交流機会の創出や、報告会などで交流促進を行うことで、団体の課題解決を図り、市民活動の幅を広げていく。				
総合評価		中間評価	年間評価		令和5年度	令和4年度
		A	A		A	A

【別紙1】指定管理者制度施設の利用者数及び収入額について

【注意点】

1. 各施設ごとに記入してください。
2. 差引増減数及び増減額が大きい場合は理由を記入してください。
3. 表が足りない場合は、表又はシートをコピーしてください。

【施設名】

【所管課】 まちづくり課
市民活動支援センター

1. 利用者について

(単位: 人)

	今年度 利用者数	前年度 利用者数	差引	増減率
上半期(4月～9月)	1,299	979	320	32.7%
下半期(10月～3月)	1,399	825	574	69.6%
計	2,698	1,804	894	49.6%
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)	定期的に利用している団体以外に交流サロンやミーティンググループを総会や打ち合わせに使用する団体が増加した。また、6月より毎月1回講座や研修を行ったことが増加の要因と思われる。			

2. 使用料又は利用料について

(単位: 千円)

	今年度使用料 又は利用料	前年度使用料 又は利用料	差引	増減率
上半期(4月～9月)				
下半期(10月～3月)				
計				
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)				